

プログラム

1. 開会式

8月20日（土） 9:00～9:30

開会の辞（日本薬学教育学会理事長）

挨拶（第7回日本薬学教育学会大会大会長、文部科学省、厚生労働省）

2. 基調講演

8月20日（土） 9:30～10:30

「北里柴三郎の教育が今に伝えること」

講師：檀原 宏文（北里大学名誉教授、一般社団法人北里柴三郎記念会理事長）

座長：岡田 信彦（第7回日本薬学教育学会大会大会長）

3. 特別講演

8月21日（日） 9:30～10:30

「やわらかな1.5人稱 ～医療者と患者のより良いコミュニケーションを目指して」

講師：中野 重行（大分大学名誉教授）

座長：乾 賢一（一般社団法人日本薬学教育学会理事長）

4. 日本薬学教育学会奨励賞受賞講演

8月20日（土） 11:00～13:00

座長：乾 賢一（一般社団法人日本薬学教育学会理事長）

教育研究奨励賞

「メタ認知的アプローチに基づいた臨床実習の学修効果向上および薬学生のプロフェッショナルリズム醸成に関する研究」

鈴木 小夜（慶應義塾大学薬学部）

「大規模災害を想定した統合型災害医療教育が災害時のイメージと災害時自己効力感に及ぼす影響」

永田 実沙（和歌山県立医科大学薬学部）

「薬学卒業研究で醸成される研究能力の到達度評価に基づいた教授・学修活動改善への取り組み」

中谷 絵理子（帝京大学薬学部）

教育実践奨励賞

「在宅医療で活躍できる薬剤師の教育プログラムの構築と実践」

今西 孝至（京都薬科大学）

5. シンポジウム

特別企画シンポジウム

8月21日(日) 14:30~16:30

「薬学人のアイデンティティを支える研究倫理」

オーガナイザー：入江 徹美（熊本大学大学院）、有田 悦子（北里大学薬学部）

- 特 S-1 学会誌「薬学教育」編集者からの問題提起
— 薬学教育研究における倫理的配慮を考える —
入江 徹美（熊本大学大学院）
- 特 S-2 研究の倫理的問題を自ら考える
堂園 俊彦（静岡大学）
- 特 S-3 望ましい研究のあり方
田中 智之（京都薬科大学）
- 特 S-4 実践報告：北里大学薬学部における研究倫理教育
— 研究事例を題材とした参加型学習 —
有田 悦子（北里大学薬学部）
- 特 S-5 実践報告：北里研究所病院研究倫理委員会における対応
— 指針対象外の倫理審査 —
氏原 淳（北里大学北里研究所病院）

シンポジウム 1

8月20日(土) 11:00~12:30

「多職種連携教育の充実に向けて：連携のために「ゆる〜く」連携する」

オーガナイザー：石川 さと子（慶應義塾大学薬学部）、野呂瀬 崇彦（帝京大学薬学部）

- S01-1 多職種連携教育をいかに進めていくか？
— コンピテンシー基盤型教育とブリコラージュ —
春田 淳志（慶應義塾大学医学部）
- S01-2 医療から福祉まで羽を広げた I P E へ
藤井 博之（長野大学社会福祉学部）
- S01-3 I P E で広がる世界
— 知らなかったことを知る楽しみ —
石川 さと子（慶應義塾大学薬学部）
- S01-4 「ゆるさ」がもたらす気づきとつながり
— “ねばならない！”は置いといて —
野呂瀬 崇彦（帝京大学薬学部）

シンポジウム 2

8月20日(土) 11:00~12:30

「有害事象報告＋地域連携の教育実践により社会に評価される薬剤師を目指す」

オーガナイザー：飯塚 敏美（望星築地薬局）

- S02-1 薬剤師の養成及び資質向上に資する教育
— 「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会 とりまとめ」を踏まえて —
永井 智美 (厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課)
- S02-2 薬剤師と製薬企業の関わり
— 将来に繋げる医薬品の有害事象報告 —
大田 朋宏 (MSD 株式会社)
- S02-3 患者を守り公衆衛生の向上に寄与する我々の MISSION とは
— 有害事象報告とその教育におけるシナジー効果 —
鈴木 優司 (東海大学医学部附属病院薬剤部)
- S02-4 実習生教育の実践で社会に評価される薬剤師を目指す
飯塚 敏美 (望星築地薬局)

シンポジウム 3

8月20日(土) 11:00~12:30

「薬学部における若手教員の研究・教育活動の現状」

オーガナイザー：長光 亨 (北里大学薬学部)

- S03-1 卒業研究を通して学べること、活かせること
李 大葵 (北里大学薬学部)
- S03-2 研究・教育活動に向き合う姿勢
亀井 智代 (城西国際大学薬学部)
- S03-3 薬学部若手教員の研究・教育活動に加えてワークライフマネジメントについても考える
酒井 隆全 (名城大学薬学部)
- S03-4 実務系教員の目から見た薬学基礎教育
— 今の薬学生を見ていて、感じたこと —
島崎 学 (帝京平成大学薬学部)

シンポジウム 4

8月20日(土) 14:00~16:00

「薬学部学生における研究志向のマインドセット醸成を目指して」

オーガナイザー：前田 和哉 (北里大学薬学部)

- S04-1 6年制にふさわしい研究ってなに？
— 有機化学の立場から —
高橋 秀依 (東京理科大学薬学部)
- S04-2 6年制課程薬学部生の研究活動について
— 医療系総合大学薬学部教員としての一考察 —
永井 純也 (大阪医科薬科大学)
- S04-3 臨床的課題解決を目指した研究を行う次世代リーダーの養成
— 持続可能な研究活動を行うため —
河添 仁 (慶應義塾大学薬学部)

- S04-4 ファーマシスト・サイエンティストの養成
— 大阪大学薬学部の取り組み —
有澤 光弘 (大阪大学大学院薬学研究科)

シンポジウム5

8月20日(土) 14:00~16:00

「イマジネーションベースドファーマシーを目指す薬学人のための教育 —社会との接点をもたらす患者の存在—」

オーガナイザー：岩堀 禎廣(合同会社エビデンスマーケティング/日本薬科大学)、平井 みどり (一般社団法人健ママ協会/神戸大学)、鈴木 信行 (患医ねっと)

- S05-1 薬学教育における学習者参加
— 薬学生の立場から —
石田 茂花 (みらい女子プロジェクト)
- S05-2 イマジネーションベースドファーマシーを目指す薬学人のための教育への期待
— 患者の視点から —
鈴木 信行 (患医ねっと)
- S05-3 薬学教育における患者参加の意味
— 臨床と教育の両方に関わった経験から —
平井 みどり (一般社団法人健ママ協会/神戸大学)
- S05-4 「アイデンティティ」と「自己実現」と「患者参加」と「想像力」
— 患者参加型医療を推進する立場から —
岩堀 禎廣 (合同会社エビデンスマーケティング/日本薬科大学)

シンポジウム6

8月20日(土) 14:00~16:00

「実践的な薬剤師の育成に向けた卒後教育（臨床研修）の新展開」

オーガナイザー：木内 祐二 (昭和大学医学部)、高橋 一栄 (大阪府済生会野江病院薬剤科)

- S06-1 地域における実践的な薬剤師の育成に向けて
— 東京都薬剤師会生涯研修プログラムの構築 —
宮川 昌和 (東京都薬剤師会)
- S06-2 地域完結型医療の実現に向けて
～ 進化する薬剤師連携とそれを支える薬剤師の育成 ～
室井 延之 (神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部)
- S06-3 卒前・卒後の一貫した医師教育の現状、課題、対策
— アウトカム基盤型教育からの視点 —
三原 弘 (富山大学医師キャリアパス創造センター)
- S06-4 次世代の保健医療福祉専門職を育成する卒後教育のデザイン
— 専門職間教育 (IPE) の視座からの提案 —
下井 俊典 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部)

シンポジウム7

8月20日(土) 14:00~16:00

「社会の荒波を生き抜くために求められる薬学教育 ―現場から薬学部に向けた熱い声―」

オーガナイザー：廣川 重男（株式会社京都廣川書店）、山内 理恵（星薬科大学）

- S07-1 薬学部出身でない製薬メーカーの研究者から見た薬学教育と将来への期待
川上 雅之（キッズウェル・バイオ株式会社）
- S07-2 チームから見た病院薬剤師の働き方改革
― 現場で働くチームメンバーになろう ―
阿部 恒平（聖路加国際病院）
- S07-3 地域の実態を目の当たりにした薬剤師の視点から
― 大学に期待するこれからの薬学生教育 ―
樋口 敬史（株式会社ゆうホールディングス）
志摩 大介（株式会社ゆうホールディングス）
- S07-4 “大学独自の教育”はどのような人材を輩出できるか
須野 学（和歌山県立医科大学薬学部）

シンポジウム8

8月21日(日) 11:00~13:00

「現場のIT化・デジタル化を踏まえて、薬学でのICTリテラシー教育はどうあるべきか？」

オーガナイザー：富澤 崇（株式会社ツールボックス/北里大学）

- S08-1 医療現場におけるデジタル化・ICT化の現状と未来
堂前 紀郎（株式会社MG-DX）
- S08-2 薬学教育モデル・コアカリキュラム改定におけるデジタルトランスフォーメーション
近藤 悠希（熊本大学大学院生命科学研究部（薬学系））
- S08-3 シラバスから見える？ 薬学におけるICT教育の現状
土井 信幸（高崎健康福祉大学薬学部）
- S08-4 現場が期待するカリキュラム像
富澤 崇（株式会社ツールボックス/北里大学）

シンポジウム9

8月21日(日) 11:00~13:00

「社会から眺めた薬学教育 ～次世代の人材育成に何が必要なのか～」

オーガナイザー：亀井 美和子（帝京平成大学薬学部）、中村 明弘（昭和大学薬学部）

- S09-1 薬剤師の育成に必要とされること
― 患者の立場から―
山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML）
- S09-2 薬学から少し離れて薬学を眺めてみる
― 医療人類学という視点から ―
菊地 真実（帝京平成大学薬学部）

- S09-3 社会すなわち様々な人々のための薬学教育とは
— 異分野・異業種から薬学教育に参入した教員の視点から —
櫻井 秀彦（北海道科学大学）
- S09-4 「企てる」を育み、社会を動かす
— 6年制卒薬剤師の実践より —
日高 玲於（株式会社フロンティアファーマシー）

シンポジウム 10

8月21日（日） 11:00～13:00

「危機対応能力の醸成を目指した薬学教育の在り方を考える」

オーガナイザー：永田 泰造（東京都薬剤師会）、伊東 明彦（帝京平成大学薬学部）

- S10-1 災害時に活動できる薬剤師（リーダー）の養成教育を考える
貞松 直喜（東京都薬剤師会/株式会社メディセオ）
- S10-2 大学病院での危機管理能力の醸成と教育・研修を考える
篠原 高雄（杏林大学医学部附属病院薬剤部/東京都薬剤師会）
- S10-3 医療過疎地等での地域医療を担える薬剤師の養成教育を考える
伊東 明彦（帝京平成大学薬学部）
- S10-4 2か月半の薬局実務実習で危機対応能力の醸成を目指すには
田極 淳一（東京都薬剤師会）

シンポジウム 11

8月21日（日） 11:00～13:00

「薬学教育における大学教員間の連携体制の構築 —FDが果たす役割—」

オーガナイザー：小佐野 博史（帝京大学名誉教授）、奥脇 暢（北里大学薬学部）

- S11-1 「FDはだれのためにあるのか」
— カリキュラム改訂における重要なシステムとして —
小佐野 博史（帝京大学名誉教授）
- S11-2 全学部規模、医療系三学部合同および薬学部のFDについて
— 各FDの取組みと薬剤師生涯研修プログラムでの試み —
山浦 克典（慶應義塾大学薬学部）
- S11-3 FDとIRの協働的な関係の構築を目指す
— 新しい学部で目指すFD・IRが日常的にある教育 —
安原 智久（和歌山県立医科大学薬学部）
- S11-4 医学部における教員研修（FD）の現状
— 医学教育の質向上を目的とした教員の協力能力開発—
奈良 信雄（日本医学教育評価機構）

「薬剤師の資質向上に向けてー卒前教育と卒後研修のポジショニングー」

オーガナイザー：尾鳥 勝也（北里大学薬学部/北里大学病院）、木村 利美（順天堂大学医学部
附属順天堂医院）

- S12-1 薬剤師の卒後研修の方向性
ー 薬剤師の卒後研修カリキュラムの調査研究を踏まえて ー
山田 清文（名古屋大学医学部附属病院薬剤部）
- S12-2 薬局薬剤師の立場から卒後研修を考える
ー 薬剤師のスタートは病棟研修から ー
宮崎 長一郎（有限会社宮崎薬局）
- S12-3 卒前教育から卒後研修へ
ー シームレスな卒前・卒後の臨床薬剤師育成プログラム構築に向けて ー
中村 明弘（昭和大学薬学部）
- S12-4 日米の薬学教育・薬剤師教育の違いを理解する重要性
ー 教育・臨床両方での経験から見えてきたこと ー
岩澤 真紀子（北里大学薬学部）

「学生のアイデンティティ発達に大学はどこまで関われるのかー学生支援の観点からー」

オーガナイザー：内田 尚宏（北里大学健康管理センター・白金キャンパス学生相談室）
座長：吉永 真理（昭和薬科大学）

- S13-1 アイデンティティとは何か
苫米地 憲昭（東京カウンセリングセンター）
- S13-2 学生相談の中で大切にしていること
ー 他の臨床現場と比較して ー
渡辺 由紀（北里大学・白金キャンパス学生相談室）
- S13-3 薬学部における学生相談
ー 二足の草鞋を履く悩み ー
吉永 真理（昭和薬科大学）

6. ワークショップ

ワークショップ1

8月20日(土) 10:30~13:00

「改訂モデル・コアカリキュラムで求められる臨床教育を実践しよう！～実務実習生に何をどう伝えるかを考える～」

オーガナイザー：段林 正明（大阪府済生会野江病院薬剤科）
津田 真弘（京都大学大学院薬学研究科）
タスクフォース：岩内 大佑（洛和会音羽病院薬剤部）
馬橋 美由季（京都桂病院薬剤科）
角山 香織（大阪医科薬科大学）
塩田 有史（愛知医科大学病院感染制御部/薬剤部）
高橋 一栄（大阪府済生会野江病院薬剤科）
松本 乃里子（愛知医科大学病院薬剤部）

ワークショップ2

8月20日(土) 14:00~16:30

「未病予防と入院・外来薬物療法を繋げる教育用シナリオの作成～ウィズコロナ・ポストコロナ時代の新たな医療に対応できる薬剤師の育成～」

オーガナイザー：久保田 洋子（千葉科学大学薬学部）
関根 祐子（千葉大学大学院医学薬学府実務薬学研究室）
タスクフォース：三浦 裕也（国際医療福祉大学薬学部）
多根井 重晴（日本薬科大学）
松下 綾（ウエルシア薬局株式会社）
笠原 正幸（千葉大学大学院医学研究院）
花井 雄貴（東邦大学薬学部）
篠原 久仁子（株式会社フローラ、株式会社恵比寿ファーマシー）
中尾 豊（株式会社カケハシ）

ワークショップ3

8月20日(土) 14:00~16:30

「倫理的感受性を育む方法を考えよう！～実務実習における体験談の引き出し方」

オーガナイザー：田村 豊（福山大学薬学部）
石川 さと子（慶應義塾大学薬学部）
中田 亜希子（東邦大学医学部）
タスクフォース：有田 悦子（北里大学薬学部）
亀井 美和子（帝京平成大学薬学部）
竹平 理恵子（北里大学薬学部）
高橋 瑞穂（東邦大学薬学部）

ワークショップ4

8月21日(日) 10:30~13:00

「ライフイベントにとらわれず就業継続するためのタスクの棚卸と整理方法を身に付けよう」

オーガナイザー：永田 実沙 (和歌山県立医科大学薬学部)
青江 麻衣 (大阪大谷大学薬学部)
特別講師：三好 怜子 (株式会社ノヴィータ)
タスクフォース：今西 江里 (大阪大谷大学薬学部)
浦嶋 庸子 (大阪大谷大学薬学部)
矢原 恵美 (兵庫医科大学薬学部)

ワークショップ5

8月21日(日) 14:00~16:30

「ICTを用いた教育ツール ハンズオンワークショップ」

オーガナイザー：村岡 千種 (北海道科学大学薬学部)
タスクフォース：木下 淳 (兵庫医科大学薬学部)
酒井 隆全 (名城大学薬学部)
竹平 理恵子 (北里大学薬学部)
椎橋 美智男 (埼玉医科大学)
浅田 義和 (自治医科大学)

ワークショップ6

8月21日(日) 14:00~16:30

「地域医療の未来を変える“薬学生へのプレコンセプションケア教育”の実現へ～当事者世代のワンストップセンター機能を担える薬剤師人材養成を～」

オーガナイザー：宮原 富士子
(特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women / ケイ薬局)
井手口 直子 (帝京平成大学薬学部)
タスクフォース：荒田 尚子 (国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科)
樋口 毅 (弘前大学大学院保健学研究科看護学領域)
西村 亜佐子 (同志社女子大学薬学部)
中村 由喜 (TAYA 研究会/あおぞら薬局富士見店)
鈴木 怜那 (OGP 薬局荒川店)
若林 由香子 (特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women)
小佐野 博史 (帝京大学名誉教授)
串田 一樹 (昭和薬科大学)

7. 一般演題（口頭発表）

- 一般演題のスライドは、マイページより閲覧可能です。
閲覧期間：8月1日（月）10:30 ～ 8月21日（日）18:00
- 一般演題の発表時間は、以下となります。
 - 一般演題（口頭発表）① 8月20日（土）13:00～14:00
 - 一般演題（口頭発表）② 8月20日（土）16:30～18:00
 - 一般演題（口頭発表）③ 8月21日（日）13:00～14:00
- 発表は、ブレイクアウトルームで行います。各 Room の発表順は、演題番号の早い方から順番で実施します。タイムスケジュールをご参照ください。
- 学生発表は、一般演題（口頭発表）②にて行います。演題番号に S が付いています。学生発表については、大会審査員による審査を行い、優秀発表賞を8月21日（日）の閉会式にて大会長より発表致します。

一般演題（口頭発表）①

<発表日時>	8月20日（土）	13:00～14:00		
<タイムスケジュール>	1 番目	13:00～13:15	2 番目	13:15～13:30
	3 番目	13:30～13:45	4 番目	13:45～14:00

基礎系専門教育

Z 会場 Room1

座長：西口 工司（京都薬科大学）

- Z001 1 年次生前期開講「薬学化学入門」にて実践したグループ学習の内容と結果 ～能動的な学習意欲の向上をめざして～
○刀根 菜七子¹、石川 さと子²、三島 健一¹、富田 陵子¹、藤岡 稔大¹
¹福岡大学・薬学部、²慶應義塾大学・薬学部
- Z002 2 年次生前期科目「生化学Ⅲ」で実施した、授業開講前後における授業項目認知度・理解度アンケートの解析とその活用
○倉島 由紀子¹
¹北陸大学薬・薬学教育研究センター
- Z003 油脂の変質試験に着目した実験実習教材の開発
○高田 哲也¹、徳山 友紀¹、金瀬 薫¹、高尾 郁子¹、河野 享子¹、平山 恵津子¹、木村 徹¹、藤原 洋一¹
¹京都薬科大学 学生実習支援センター
- Z004 グループディスカッション（ジクソー法）を用いた医薬品化学演習の授業デザインー“くすりのかたちを見て考えることが楽しい”を引き出すためにー
○田嶋 公人¹、中村 洋²、亀井 智代³
¹城西国際大薬・薬理学、²城西国際大薬・薬化学、³城西国際大薬・生物有機化学

座長：入江 徹美（熊本大学大学院）

- Z005 薬用植物園を利用した教育 —薬用植物園学生ガイドの育成—
○西山 由美¹、竹仲 由希子¹、小林 典裕¹
¹神戸薬科大学
- Z006 態度教育の目標と評価について考える —到達目標、向上目標、参加目標の設定と態度評価のための学生間相互評価—
○藤井 幹雄¹、紺野 奇重¹、中谷 善彦¹、山中 将敬¹、松浦 能行¹、八木 秀樹¹
¹国際医福大薬
- Z007 学部連携グループ学修による在宅医療における学生の倫理的価値観の涵養
○加藤 里奈¹、田中 佐知子¹、佐口 健一²、小倉 浩³、三橋 幸聖²、剣持 幸代³、石川 健太郎⁴、木内 祐二⁵、榎田 めぐみ²
¹昭和大薬・教育実践学、²昭和大保健医療、³昭和大富士吉田教育、⁴昭和大歯、⁵昭和大医
- Z008 薬学生の死生観醸成を目的とした新規プログラムの構築と評価
○相良 篤信¹、鳥越 一宏²、白水 俊介²、畦地 拓哉³、伊藤 由香里⁴、島内 明文⁵、湯本 哲郎¹
¹星薬科大学・薬剤師職能開発研究部門、²星薬科大学・実務教育研究部門、³順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部、⁴オダファーマシー品川八潮薬局、⁵星薬科大学・哲学研究室

座長：長谷川 洋一（名城大学薬学部）

- Z009 スマートフォンアプリを用いた生物系科目の問題集作成
○武本 眞清¹、大畠 京子¹、木藤 聡一¹、齋藤 大明¹、倉島 由紀子¹、畑 友佳子¹、池田 ゆかり¹、山田 豊¹、高橋 達雄¹、内手 昇¹
¹北陸大・薬
- Z010 学業成績不振学生を対象とした教育と実践（第13報） —ICTを活用し基礎知識の補強を目指した学習支援プログラムの開発と教育実践—
○飯田 耕太郎¹
¹名城大学薬・薬学教育開発センター
- Z011 スクラッチカード機能を備えた新規 web テストシステムの開発とその効果検証
○木藤 聡一¹、藤澤 卓也²、三好 幸司²、武本 眞清¹、池田 ゆかり¹、池田 啓一¹、木村 敏行¹、宇佐見 則行¹、杉山 朋美¹、佐藤 安訓¹、畑 友佳子¹、佐藤 友紀¹、高橋 達雄¹
¹北陸大薬、²株式会社三好製作所

Z012 オンライン試験における Safe Exam Browser の活用

○野中 孝昌¹

¹岩手医科大学・薬学部

臨床系専門教育①/事前実習・実務実習①

Z会場 Room4

座長：奥田 真弘（大阪大学医学部附属病院薬剤部）

Z013 救命救急センター見学実習における映像教材の導入の効果

○亀井 大輔¹、吉川 桂加¹、小池 夏穂¹、山本 仁美¹、小林 文¹、加藤 里奈¹、田中 佐知子¹

¹昭和大学薬学部・教育実践学

Z014 ワクチン関連業務に対する新規実習導入の取組み

○岡村 央¹、向井 潤一¹、山田 路子¹、吉野 裕梨佳¹、久保田 理恵¹

¹北里大学薬学部 臨床薬学教育部門

Z015 シミュレータを用いたワクチン接種のための筋肉注射実習の導入とその効果

○堀尾 福子¹、池田 徳典¹、石黒 貴子¹、瀬尾 量^{1,2}、内田 友二¹

¹崇城大学・薬学部、²株式会社ハートフェルト

Z016 北里大学薬学部におけるフィジカルアセスメント実習

○小林 義和¹、朝倉 崇徳¹、鈴木 雄介¹

¹北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 臨床医学大講座 生体制御学

教育評価①

Z会場 Room5

座長：武田 香陽子（北海道科学大学薬学部）

Z017 薬学と有機化学における専門用語の発音を含む学習指導が学生にもたらす効果の調査

○信田 智哉^{1,2}、峯野 知子¹、須藤 豊¹、渡辺 和樹^{1,2}、山際 教之^{1,2}

¹高崎健康福祉大学薬、²同薬学学修支援センター

Z018 新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究 ―作成したループリック形式の自己評価シートの再検討―

○中尾 幸代^{1,2}、村田 明子^{1,3}、松田 裕子¹、南 恵理子^{1,4}、山中 智香^{1,5}、沼田 千賀子¹

¹神戸薬科大学 総合教育研究センター、²薬局エビラファーマシー、³偕生病院、⁴きららみらい薬局、⁵ウィズ・グロー

Z019 成績下位者を対象とした個別面談が成績に与える効果についての検証

○橋本 怜史¹、西丸 宏¹、八巻 史子¹、加瀬 義夫¹

¹武蔵野大学薬・薬学キャリア教育研究センター

Z200 基礎的内容を扱う化学実習が薬学生のエンゲージメントに与える影響

○福留 誠¹、日置 和人¹

¹神戸学院大学薬・教育推進

卒後教育①

Z会場 Room6

座長：久保田 理恵（北里大学薬学部）

Z201 日本医科大学付属病院における薬剤師レジデント教育とその課題

○福島 与詩香¹、吉川 聡美¹、輪湖 哲也¹、林 太祐¹、伊勢 雄也¹

¹日本医科大学付属病院薬剤部

Z202 薬剤師レジデント研修への地域連携カリキュラム導入効果の検証

○薩摩 由香里¹、三木 博史²、山本 晴菜¹、藤田 和美¹、藤井 尚子¹、木下 恵¹、
山岡 健太¹、高瀬 友貴¹、池末 裕明¹、橋田 亨¹、室井 延之¹

¹神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部、²株式会社すまいる かもめ薬局

Z203 キルギス共和国における薬剤師育成プロジェクト —現役薬剤師継続研修について—

○鈴木 良風¹、中島 大理¹、巻嶋 孝明¹、松野 良智¹、村上 理¹、穂坂 邦大¹、
井上 洋一²、木暮 喜久子¹

¹学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール、²株式会社日本開発サービス

Z204 神戸薬科大学生涯研修 e-learning 講座受講者を対象としたアンケート調査 —2020 年度
および 2021 年度の比較分析—

○鎌尾 まや¹、小山 豊¹、長谷川 潤¹、北川 裕之¹

¹神戸薬科大学

一般演題（口頭発表）②

＜発表日時＞	8月20日（土） 16:30～18:00			
＜タイムスケジュール＞	1 番目	16:30～16:45	2 番目	16:45～17:00
	3 番目	17:00～17:15	4 番目	17:15～17:30
	5 番目	17:30～17:45	6 番目	17:45～18:00

学生発表①(事前実習・実務実習/ヒューマニティ教育/その他)

Z会場 Room1

座長：中村 明弘（昭和大学薬学部）

Z025S 薬局実務実習における一般性自己効力感の向上に關与する経験

○千代田 果歩¹、山田 路子¹、今井 良紀²、向井 潤一¹、吉野 裕梨佳¹、岡村 央¹、久保田 理恵¹、河野 和宏²、小川 護²

¹北里大学薬学部・臨床薬学教育部門、²相薬薬局グループ

Z026S COVID-19パンデミック下での実務実習は薬局実務実習生のプロフェッショナリズムに影響をもたらしたのか

○松野 昂樹¹、鈴木 小夜¹、牧山 大輝¹、地引 綾¹、横山 雄太¹、河添 仁¹、中村 智徳¹

¹慶應義塾大学薬・医療薬学・社会連携センター 医療薬学部

Z027S 病院薬剤師の成長プロセス解明のための量的・質的研究 —プロフェッショナリズムとの関連性—

○竹安 葵^{1,2}、田中 佐知子¹、小林 如乃³、加藤 里奈¹、山本 仁美¹、小林 文¹、北原 加奈之²、百 賢二²、佐々木 忠徳²

¹昭和大学薬学部薬学教育学講座教育実践学部、²昭和大学薬学部病院薬剤学講座、

³昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座

Z028S 「屋根瓦方式教育」による病や患者に対する差別・偏見に関する倫理教育の実践

○齊藤 慶介¹、横田 恵理子¹

¹慶應大・薬

Z029S 「屋根瓦方式教育」による倫理教育の実践 —ACPについての学習を通じて—

○日野 慎一郎¹、横田 恵理子¹

¹慶應大学・薬

Z030S 将来の薬剤師がプライマリケアを行うための薬育教育 —薬学生による中学校保健体育の授業での薬育の実施—

○原田 美那¹、伊東 育己¹、小原 道子¹、菊地 真実¹

¹帝京平成大学・薬学部

Z031S 倫理・コミュニケーションに係るルーブリック評価表を用いた薬学生の自己評価
—学年横断的な解析—

○佐藤 里奈¹、井上 賀絵¹、横田 恵理子¹、漆原 尚巳¹、石川 さと子¹
¹慶應義塾大学薬学部

Z032S 薬学生の情報倫理観を醸成する学習プログラムの構築

○重田 結里¹、濱田 玲奈¹、石川 さと子¹
¹慶應義塾大学薬学部

Z033S Virtual Reality(VR)技術の薬学教育への応用

○時田 将真¹、酒井 隆全¹、牛田 誠²、田辺 公一¹、大津 史子¹
¹名城大薬・医薬品情報学、²名城大薬・実践薬学Ⅱ

Z034S 演習課題の提出時刻から見た学生の学習スタイルと成績との関係

○竹本 夏穂¹、宮崎 誠¹、倉田 里穂¹、長谷井 友尋¹、佐藤 卓史¹、井上 晴
嗣¹、大桃 善朗¹
¹大阪医科薬科大学・薬学部・薬学教育研究センター

Z035S 東京薬科大学と武田薬品との協定に基づく地域医療の課題への取組み講義を経験して

○横田 紗也¹、加藤 凌雅¹、益山 光一¹
¹東京薬科大学薬・薬事関係法規研究室

初年次教育

Z036 薬学部1年生を対象にした『話す-聞く』プログラム実践からの考察

○内田 尚宏¹、有田 悦子²、竹平 理恵子²
¹北里大学健康管理センター、²北里大学薬学部

Z037 薬学準備5科目の統合における教育効果の検討

○齋藤 博¹、田端 健治¹、和田 重雄¹、佐藤 卓美¹、安田 高明¹
¹日本薬科大学薬

Z038 初年次学修ポートフォリオの導入と検証 —学生の自律的学修習慣の確立に向けて—

○兒玉 安史¹、南 英輝¹、山口 雅史¹
¹広島国際大学薬学部

Z039 全国統一プレイスメントテストの成績分析から読む今後の教育手法の提案 ～成績上位者と成績下位者で差がついた問題の考察～

○松原 祐太¹、田島 豊¹、浦谷 智子¹、茂木 雄輔¹、村上 理¹、木暮 喜久子¹
¹学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール

- Z040 不自由体験がもたらす学生の合意形成に関するイメージの変化 —テキストマイニングによるレポートの前後比較—
○永田 実沙¹、安原 智久¹
¹和歌山県立医科大学薬学部
- Z041 ハンディキャップ体験の教育効果の解析
○渡部 俊彦¹、伊藤 邦郎¹、町田 浩一¹
¹東北医科薬科大学・薬学教育センター

ICT 教育②/共用試験・国家試験

Z 会場 Room4

座長：奥田 真弘（大阪大学医学部附属病院薬剤部）

- Z042 北海道科学大学薬学部における新入生学内オリエンテーションの実践 —QR コードで収集したデータの解析とその応用可能性の検討—
○村岡 千種¹、坪和 幸司¹
¹北海道科学大学薬学部
- Z043 実務実習直前のアクティブラーニング授業欠席者対応として行ったオンライン授業を併用したハイブリッド授業についての報告
○菊地 真実¹、吉田 貴行¹、原田 美那¹
¹帝京平成大学薬学部
- Z044 福岡大学薬学部における対面およびオンライン講義の学生アンケート調査に対する成績別解析
○鮎川 洋¹、今任 拓也¹、三島 健一¹、松末 公彦¹、右田 啓介¹、藤岡 捻大¹
¹福岡大学薬学部
- Z045 薬学部 1-3 年生を対象とした「薬剤師国家試験体験会」による学習意欲の向上効果
○井上 信宏¹、許 将¹、山内 理恵¹、大野 修司¹、久保 元¹、浅井 和範¹
¹星薬科大学 薬学教育研究部門
- Z046 薬学共用試験 CBT —2021 年度結果について
○石川 さと子^{1,2}、伊藤 智夫¹、中村 明弘^{1,3}、増野 匡彦¹、石塚 忠男^{1,4}、松野 純男^{1,5}、前田 定秋^{1,6}、小澤 孝一郎^{1,7}、出口 芳春^{1,8}、三田 智文^{1,9}、飯島 史朗^{1,10}、宮崎 智^{1,11}、矢ノ下 良平^{1,12}、奥 直人^{1,8}
¹薬学共用試験セ、²慶應大薬、³昭和薬、⁴熊本大薬、⁵近畿大薬、⁶摂南大薬、⁷広島大薬、⁸帝京大薬、⁹東大薬、¹⁰文京学院大保、¹¹東京理大薬、¹²帝京平成大薬
- Z047 2021 年度第 13 回薬学共用試験 OSCE の結果解析
○田村 豊^{1,2}、有田 悦子^{1,3}、石田 志朗^{1,4}、入江 徹美^{1,5}、岡村 昇^{1,6}、小澤 孝一郎^{1,7}、木内 祐二^{1,8}、向後 麻里^{1,9}、富岡 佳久^{1,10}、中嶋 幹郎^{1,11}、野田 幸裕^{1,12}、橋詰 勉^{1,13}、松下 良^{1,14}、松元 一明^{1,15}、吉富 博則^{1,2}、渡邊 真知子^{1,16}、木津 純子¹、奥 直人^{1,16}
¹薬学共用試験セ、²福山大薬、³北里大薬、⁴徳島文理大薬、⁵熊本大薬、⁶武庫川女大薬、

7 広島大薬、8 昭和大医、9 昭和大薬、10 東北大薬、11 長崎大薬、12 名城大薬、13 京都薬大、
14 金沢大薬、15 慶應大薬、16 帝京大薬

連携教育①/その他

Z 会場 Room5

座長：木内 祐二（昭和大学医学部）

- Z048 COVID-19 ワクチン調製支援業務を通じた薬業連携の推進と調製支援業務に携わった薬剤師の心理状態に影響する因子の探索**
○矢原 恵美¹、琢磨 寛孝^{2,3}、日野 真紀²、加地 由美子²、久保 敏史²、高瀬 梓²、樋口 淳一²、木下 淳¹
¹兵庫医科大学・薬学部、²川西市薬剤師会、³宝塚市薬剤師会
- Z049 名古屋市立大学医学部附属 3 病院合同勉強会の試み —薬剤師の感染症診療支援のレベルアップに向けた症例検討—**
○日比 陽子^{1,2}、早川 智章¹、小林 紀香¹、大橋 一輝¹、和知野 千春¹
¹名古屋市立大学病院薬剤部、²名古屋市立大学医・臨床薬剤学
- Z050 地方創生を基盤とする持続可能な社会の創り手を育む ESD 教材の開発**
○堀松 星翔^{1,2}、三浦 裕也¹、水野 憲一³、大越 絵実加^{3,4}
¹国際医療福祉大学大学院薬学研究科、²株式会社丸大サクラキ薬局、³青森大学薬学部、⁴青森大学 SDGs 研究センター
- Z051 コロナ禍における学部連携での地域医療実習 —体系的・段階的な在宅チーム医療教育の集大成として—**
○福村 基徳¹、岸本 桂子¹、木内 祐二²、三橋 幸聖³、田中 佐知子¹、谷岡 利裕¹、熊木 良太¹、有馬 牧子²、剣持 幸代⁴、伊原 良明⁵、古屋 純一⁵、尾形 佑香³、高 紋子³
¹昭和大学薬、²昭和大学医、³昭和大学保健医療、⁴昭和大学富士吉田教育、⁵昭和大学歯
- Z052 Interdisciplinary Education for Life Science Graduate Students: Nurturing Future Leaders for Well-Being Society**
○Devkota Hari Prasad¹
¹熊本大・大学教育統括管理運営機構
- Z053 地域薬剤師との交流による中学生のキャリア発達能力の習得・育成効果の検証**
○多田 智美¹、堀松 星翔²、水野 憲一¹、大越 絵実加^{1,3}
¹青森大薬、²丸大サクラキ薬局、³青森大 SDGs 研セ

座長：高橋 一栄（大阪済生会野江病院）

- Z054 COVID-19 パンデミック下でのオンライン実務実習の導入と評価 —医薬品情報室実習における Teams の活用—
○吉田 浩美¹、石渡 泰芳¹、永田 将司¹、高橋 弘充¹
¹東京医科歯科大学病院薬剤部
- Z055 実務実習におけるコロナ感染症禍の学校薬剤師実習への影響調査
○長田 洋一¹、岩澤 晴代¹、下山 多映¹、岩井 裕美¹、野呂瀬 崇彦¹、山本 秀樹¹
¹帝京大・薬
- Z056 薬樹株式会社における実務実習の取り組み —症例検討発表会を通じての実習生の学びについて—
○久木崎 和恵¹、佐藤 光太¹、山脇 幸乃¹、成富 清蔵¹
¹薬樹株式会社
- Z057 コロナ禍における薬局実習中の遠隔大学登校日の実施と効果
○川上 美好¹、園部 堯仁¹、上田 祥貴¹、吉山 友二¹
¹北里大学薬・地域医療薬学
- Z058 薬局実務実習における日誌の活用 ～リフレクションの継続、薬剤師としての考えを言葉で伝える
○中村 由喜¹、保坂 昌彦¹、渡辺 香織¹、内藤 貴夫²
¹株式会社グッドメディカルあおぞら薬局富士見店、²株式会社グッドメディカル内藤薬局飯田店
- Z059 指導薬剤師のコーチングによる学生の主体的な深い学び —薬局実務実習における地域でのチーム医療の実践を通して—
○山本 仁美¹、小川 路代²、森田 露子²、岸本 桂子¹、向後 麻里¹
¹昭和大学薬学部、²テトラ薬局新富町店

座長：長谷川 洋一（名城大学薬学部）

- Z060 薬学生対象の筋肉注射手技演習プログラムの構築と演習後のアンケート結果 —テキストマイニングを用いた自由記載の可視化への試み—
○稲垣 孝行¹、早川 伸樹¹、榊原 有季子¹、酒井 隆全¹、伊東 亜紀雄¹、黒野 俊介¹、大津 史子¹、長谷川 洋一¹
¹名城大学薬学部

- Z061 **大学における OTC 医薬品教育の現状 —新人薬剤師のアンケート調査の分析—**
○蠅田 稔¹、円子 皓之¹、加賀良 尚思¹、山下 沙央梨¹、野崎 篤志¹、阿部 真也²、松井 洸²、今野 章之¹、立石 大介²、吉町 昌子²、野村 和彦²
¹株式会社ツルハ、²株式会社ツルハホールディングス
- Z062 **災害薬事研修に参加した学生の災害薬学教育ニーズに関するアンケート調査**
○小林 靖奈¹、和泉 邦彦²、高橋 昌²
¹昭和大学薬学部教育企画・評価学部門、²新潟大学医学部災害医療教育センター
- Z063 **スモールグループディスカッションを中心とした臨床研究の計画立案 ～4 年次「薬学研究入門」における臨床研究教育に関する新たな取組～**
○肥田 典子¹、山崎 太義¹、滝 伊織¹
¹昭和大学 薬学部臨床薬学講座 臨床研究開発学部門
- Z064 **薬学部アドバンスト科目 TCTP (Toronto Clinical Training Program) —オンライン留学で学ぶカナダの小児病院における薬剤師の役割と薬学教育—**
○近藤 雪絵¹、角本 幹夫¹、服部 尚樹¹
¹立命館大学・薬学部
- Z065 **オンライン授業の結果、平均 GPA が劇的に向上した原因と今後の薬学教育におけるオンライン授業の有効活用についての提言**
○石田 茂花¹、岩堀 禎廣²
¹みらい女子プロジェクト、²日本薬科大学

一般演題（口頭発表）③

＜発表日時＞	8月21日（日）	13:00～14:00		
＜タイムスケジュール＞	1 番目	13:00～13:15	2 番目	13:15～13:30
	3 番目	13:30～13:45	4 番目	13:45～14:00

ヒューマニティ教育②

Z会場 Room1

座長：石川 さと子（慶應義塾大学薬学部）

- Z066 入学後早期のコミュニケーション演習の成果
○坂井 久美子¹、西本 新¹、百溪 江¹
¹山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部
- Z067 バディシステムを用いたコミュニケーションワークによる薬学生の社会的スキル向上の効果検討
○中島 園美¹、二宮 沙貴²
¹神戸薬科大学・臨床心理学研究室、²近森病院薬剤部
- Z068 患者の語り動画を利用した模擬医療面接による医療コミュニケーション教育の学習効果
○岩澤 晴代¹、長田 洋一¹、野呂瀬 崇彦¹
¹帝京大学薬・薬学教育推進センター
- Z069 動画を用いて英語による服薬指導能力の向上を目指した演習への取り組み
○山下 純¹、井上 裕文¹、木平 孝高¹、Jason Lowes²
¹福山大薬、²福山大大教セ

ICT 教育③

Z会場 Room2

座長：田辺 光男（北里大学薬学部）

- Z070 学習者1に対して教員3で構成されるオンデマンド型（3対1）授業の試み —授業場面で経験する感情と使用する学習方略に関する調査・考察—
○児玉 典子¹、藤波 綾¹、竹内 敦子¹
¹神戸薬科大学・薬学教育
- Z071 学習者1に対して教員3で構成されるオンデマンド型（3対1）授業の試み —有用性および満足度に関する調査・考察—
○藤波 綾¹、竹内 敦子¹、児玉 典子¹
¹神戸薬科大学
- Z072 バーチャルリアリティーによる調剤技術学習支援ソフトの開発 —第2報—
○高尾 良洋¹、小川 ゆかり¹、小清水 治太¹、田島 純一¹、西牟田 章戸¹、堀井 剛史¹、益戸 智香子¹、湯浅 勝敏¹、道脇 聡洋²、庭屋 英樹²、降矢 信³、日染 一世³、高橋 正仁⁴、三原 潔¹

¹武蔵野大学薬・臨床薬学センター、²株式会社 Qtinet、³NEC ネットエスアイ株式会社、⁴NEC ソリューションイノベーション株式会社

Z073 薬学の研究室活動におけるリスクリング -デジタル時代の人材育成-

○小林 昌宏¹、友田 吉則¹、飯島 汰雅¹、工藤 大樹¹、横山 奈々¹、小川 萌花¹、相馬 朱里¹、横尾 有紀¹

¹北里大学薬学部薬物動態学

学習者支援

Z会場 Room3

座長：長光 亨（北里大学薬学部）

Z074 実務実習を控えている本学部生6つの学年の意識調査 —禁煙外来に関する認知度、実習先敷地内全面禁煙に関する意識—

○佐藤 亜希子¹

¹奥羽大学薬学部

Z075 四年生の夏期講習会への取り組みの違いとその後の試験結果に関する調査 —2021年度の取り組みから見てきた傾向—

○三反崎 聖¹、渡辺 和樹¹、本間 成佳¹、森 哲哉¹

¹高崎健康福祉大学薬・薬学学修支援センター

Z076 個人カルテを用いた個別化学習支援の実践と効果

○飯村 菜穂子¹、川村 暢幸¹、島倉 宏典¹、笹木 睦子¹、関川 由美¹

¹新潟薬大・薬学教育センター

Z077 臨床検査技師課程履修者への学生支援の試み

○喜来 望¹

¹北里大学・薬学部

連携教育②

Z会場 Room4

座長：木内 祐二（昭和大学医学部）

Z078 チーム医療の実践に向けた低学年向けチュートリアル演習の構築

○寺島 朝子¹、佐野 和美¹、加藤 裕久¹、定本 清美¹、塩田 清二¹、若山 恵¹、古屋 博行²、山崎 泰広¹、市丸 嘉¹、加藤 紘一¹、進藤 綾大¹、須藤 遥¹、殿山 泰弘¹、石橋 芳雄¹、加賀谷 肇¹、鈴木 勉¹

¹湘南医療大学薬学部、²東海大学医学部

Z079 倫理・プロフェッショナリズムをテーマにした多職種連携授業の実践 —Web会議システムを用いたディベートの試み—

○高橋 瑞穂¹、中田 亜希子²

¹東邦大学薬・社会薬学研究室、²東邦大学医・医学教育センター

- Z080 COVID-19 流行下における 2 大学・3 学科合同での完全オンライン多職種連携教育(IPE)
○三田 充男¹、佐藤 全伯²、兎川 忠靖¹、花田 和彦¹、安 武夫¹、山崎 紀子¹、
栗原 勲²、中村 昌子³、石塚 俊晶²、西岡 笑子³、小林 靖²、越前 宏俊¹
¹明治薬科大学・薬、²防衛医科大学校・医、³防衛医科大学校・看護
- Z081 チーム医療に貢献する臨床薬剤師養成に関する取り組み
○城野 博史^{1,2}、湯之前 清和³、大浦 華代子²、猿渡 淳二²、入江 徹美²
¹熊本大学病院薬剤部、²熊本大学大学院薬学教育部、³メディポリス医学研究所

事前実習・実務実習③

Z 会場 Room5

座長：伊藤 忠明（虎の門病院薬剤部）

- Z082 診療所・薬局連携体験実習による処方計画のシャドーイング体験
○羽野 卓三¹、秋月 麻友子²、土井 光則²、岩城 久弥³、崎山 晃彦³、松原
和夫^{2,4}、太田 茂⁴
¹和歌山県立医科大学サテライト診療所本町、²和歌山県立医科大学附属病院薬剤部、
³和歌山県薬剤師会営薬局、⁴和歌山県立医科大学薬学部
- Z083 大阪市北区で実施するオンライン病院・薬局合同実務実習発表会の概要と考察
○萱野 勇一郎¹、松元 一隆²、豊濱 隆³、尾上 雅英⁴、井上 薫⁵、武居 智英
子⁶、坂東 俊完⁶
¹大阪府済生会中津病院薬剤部、²桜橋渡辺病院薬剤科、³住友病院薬剤部、⁴北野病院薬
剤部、⁵大阪医科薬科大学薬学部、⁶大阪市北区薬剤師会
- Z084 2020 年度実務実習連携ツールの量的、質的解析結果から見えた就実大学の学生が実施
できた実務実習内容の調査
○河野 奨¹、出石恭久¹、吉井圭佑¹、田坂祐一¹、加地弘明¹、毎熊隆誉¹、名和秀起¹、
北村佳久¹、島田憲一¹、本江 誠²、西依 貴施²、兒山智治²、伊達元英²
¹就実大学薬学部臨床薬学教育研究センター、²一般社団法人岡山県薬剤師会薬局実習委
員会
- Z085 実務実習での評価と事前学習の成績に関連はあるか？
○黒野 俊介¹、稲垣 孝行¹、伊東 亜紀雄¹、守屋 友加¹、長谷川 洋一¹
¹名城大薬・臨床薬学教育・研究推進センター 実践薬学 I

カリキュラム構築/教育評価②/その他

Z 会場 Room6

座長：武田 香陽子（北海道科学大学薬学部）

- Z086 カリキュラム編成に向けた学生アンケート結果解析
○波多野 紀行¹、浦野 公彦¹、武田 良文¹
¹愛知学院大学薬学部

- Z087 ルーブリック評価支援アプリケーションの開発 —ルーブリック表の作成・登録・評価・結果一覧—
○初田 泰敏¹、佐古 寅泰¹、面谷 幸子¹、名徳 倫明¹、江崎 誠治¹
¹大阪大谷大学薬学部
- Z088 長期型ルーブリックの自己評価を用いた学生の学びへの学習プログラムの効果評価 —2020年度・2021年度卒業生の比較—
○小島 裕¹、秋元 祐佳里²、高橋 直仁¹、岡崎 真理¹、夏目 秀視¹、関 俊暢¹
¹城西大薬、²日本赤十字社医療センター薬剤部
- Z089 雇用者から見た薬剤師養成教育の評価 —全国アンケートによる旧4年制課程と6年制課程との比較—
○小林 文¹、加藤 里奈¹、山本 仁美¹、亀井 大輔¹、田中 佐知子¹
¹昭和大学薬学部薬学教育学講座教育実践学部門

卒後教育②

Z会場 Room7

座長：飯塚 敏美（望星築地薬局）

- Z090 クオールグループ薬局事業会社における1年目薬剤師を対象とした教育研修プログラムの効果報告
○板垣 幸太郎¹、中村 郁代¹、藤田 聡¹、猪股 宣明¹、高橋 渉¹、小柳 悟¹、佐藤 美弥子¹、島貫 英二¹、長沼 未加¹
¹クオール株式会社・クオールアカデミー・教育研修本部
- Z091 大阪大学医学部附属病院における地域薬学ケア専門薬剤師研修の受け入れ報告 (1) —1年目の研修を終えて—
○前田 真一郎^{1,2}、正岡 麻里³、山本 智也¹、奥田 真弘¹
¹大阪大学医学部附属病院・薬剤部、²大阪大学大学院薬学研究科・臨床薬理学分野、³日本調剤・阪大前薬局
- Z092 薬剤師の「問題抽出・解決能力」に影響する背景・要因の分析 ～学会発表経験の有無をサロゲート指標として～
○渡邊 慶剛¹、酒井 隆全²、大津 史子²
¹名城大学大学院薬学研究科、²名城大学薬学部医薬品情報学研究室
- Z093 臨床薬剤師ルーブリックにおける習熟度に応じた階層の設定とその分析 —卒後教育におけるパフォーマンスレベルの深さの評価—
○土屋 裕伴¹、新井 亘¹、増田 裕一²
¹AMG 上尾中央総合病院 薬剤部、²上尾中央医科グループ協議会 薬剤部

8. 閉会式

8月21日（日） 16:30～17:00

学生発表の優秀発表賞表彰（第7回日本薬学教育学会大会大会長）

総括（一般社団法人日本薬学教育学会理事長）

次期大会長挨拶（第8回日本薬学教育学会大会大会長）

閉会の辞（北里大学薬学部学部長）